

RPPC メールマガジン 第 759 号

リサイクルポート推進協議会（平成 30 年 1 月 23 日発行）

■先週・今週の報道発表

先週・今週の報道発表はありません。

■RPPC 事務局からのお知らせ

事務局からのお知らせは特にありません。

■リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 建設業の人材確保・育成、来年度予算で重点化
2. 堺泉北港の改訂案、今後地港審へ。循環資源取扱ふ頭計画など
3. 大阪港の改訂計画、3 月港湾分科会で審議

=====

◆リサイクルポートに関連する最新の情報

1. 建設業の人材確保・育成、来年度予算で重点化

国土交通省は来年度、建設業の人材確保・育成に向け、働き方改革の取組みを多角的に推進する。若者や女性の建設業への入職や定着の促進などを重点化する。

来年度予算の編成にあたっては、昨年 6 月に成立した働き方改革関連法を踏まえ、5 年の猶予期間後の罰則付き上限規制の適用を待たずして、建設業における長時間労働是正等に向けて関係者が総力を挙げて取り組む方向を示している。技術者については長時間労働の是正、技能労働者については休日の確保、また許可手続き等の電子申請化など建設企業の負担軽減を図る。

.....

2. 堺泉北港の改訂案、今後地港審へ。循環資源取扱ふ頭計画など

大阪府港湾局は、堺泉北港の次港湾計画改訂に向けた取組みを進めている。平成 30 年代後半（2020 年代後半）を目標にしており、自動車運搬船の大型化に対応するため、汐見沖地区に水深 13m 岸壁、同 12m 岸壁各 1 パースを計画している。また循環資源取扱機能も強化する。

府では改訂計画の素案をまとめており、1月末に地方港湾審議会に諮問、3月開催予定の交通政策審議会港湾分科会上げて意見を聴き、具体計画として位置付ける予定。

主な計画内容は、

- ①物流として、中古車輸出拠点機能の強化や循環資源取扱機能の拡充と適正配置、
- ②交流として賑わい空間の創出やクルーズ振興、
- ③環境としてLNGバンカリング等新たな船舶燃料への対応による船舶の寄港促進など。

このうち、循環資源取扱機能では、金属くずなど循環資源の取扱いが増えているほか、輸出先が東南アジアなどに広がり船舶も大型化することから、取扱ふ頭を強化する。これまで骨材などの輸入ふ頭となっていた堺7区の水深12m岸壁を循環資源取扱ふ頭に変更するほか、汐見沖地区の水深7・5m岸壁も同ふ頭として拡充する。

.....

### 3. 大阪港の改訂計画、3月港湾分科会で審議

大阪市港湾局は大阪港港湾計画の次期改訂に向けた取り組みを進めている。改訂案について2月上旬の地方港湾審議会、3月開催予定の交通政策審議会港湾分科会で意見を聴くことにしている。大阪港の次期改訂計画は平成30年代後半を目標にしたもので、主な改訂内容は、

- ①夢洲地区国際コンテナターミナル機能の拡充、
- ②夢洲地区中央部の土地利用を「観光・産業ゾーン」に変更、
- ③南港地区の内貿フェリー、ROROバースを外貿一般ふ頭に変更、などからなっている。

主な計画内容では、

- ①夢島地区の国際コンテナ戦略港湾機能の強化として、ふ頭用地約6haを追加する。また同地区周辺において国際競争力強化に繋がるロジスティクス機能用地を確保する。
- ②夢洲地区の土地利用変更は物流機能用地の背後が対象で、現状で都市機能用地や工業用地となっている中央部の区画を観光・産業ゾーンとし、都市機能用地（105ha）並びに交流厚生用地（16ha）に変更、大阪万博やIR誘導用地とする。

【港湾空港タイムス1月21日号から編集】

////////////////////////////////////

発行者：RPPC 広報部会

部会長：新谷 聡 りんかい日産建設（株）

部会員：青木 信裕 新日鐵住金（株）

山崎 和宣 五洋建設（株）

安藤 彰 東京都

齋藤 憲雄 山形県リサイクルポート情報センター

リサイクルポート推進協議会 事務局

一般財団法人みなと総合研究財団（内） 担当：本野、清水、安田

URL：[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail：[rppc\\_jimukyoku@wave.or.jp](mailto:rppc_jimukyoku@wave.or.jp)

////////////////////////////////////

■会員主催や会員に関係した催し物（セミナーなど）の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメルマガで配信致します。

■メルマガ配信先に変更がある場合、事務局までご連絡下さい。

■メルマガに関するご意見、ご要望がありましたらご連絡下さい。